

社会医療法人清恵会 清恵会医療専門学院 清恵会第二医療専門学院

令和6年度 自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

評価対象期間 自：令和6年4月 1日
至：令和7年3月31日

清恵会医療専門学院	第1看護学科	点検・評価項目総括回答責任者： 課題と解決方法・特記事項回答責任者：	教務科長 教務部長
清恵会第二医療専門学院	放射線技師科1部	点検・評価項目総括回答責任者： 課題と解決方法・特記事項回答責任者：	主任 教務科長
	放射線技師科2部	点検・評価項目総括回答責任者： 課題と解決方法・特記事項回答責任者：	主任 教務科長
清恵会医療専門学院	全1学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	校長、事務長
清恵会第二医療専門学院	全2学科	学校関係者評価・特記事項回答責任者：	校長、事務長

清恵会医療専門学校 第1看護学科

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 育成 人材 像	1-1 理念・目的・育成 人材像は、定めら れているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標等を定めており、 学生ガイダンス、ホームページ、学 生募集要項に記載している。入学 時だけではなく、実習ガイダンス時 等、学校行事と関連付けて学生に 周知するよう努めている。	教育理念・目的・目標は、募集要項や HPIに掲載している。入学時に学則や 新入生ガイダンス、教育カリキュラム要 項等を配布し、時間をかけて説明して いる。教育活動全般に核となる内容を 押さえながら実践していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育成人材像は学則に 定められ、専任教員に理解されて いる。また、専任教員はその理解 のもとで教育活動を行っている。課 題としては、学生への早期理解の 徹底が挙げられる。
	1-2 育成人材像は専 門分野に関連する 業界等の人材ニー ズに適合している か	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専門の知識・技術・態度を身に付け、 社会の変化に対応できる看護専門職 の育成に努め、100%の就職率を維持し ている。母体病院との連携を強化し、 専門職としての資質を向上させるため の環境を整え、人材育成に努めている 。	専門の知識・技術・態度を身につけ、 社会に対応できる看護専門職の育成 に努めており、就職率は100%である。 就職先からの評価は良好であり、定着 できている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育成人材像は 業界の人材ニーズに適しているこ とが証明されている。今後も母体 病院や実習施設等から得る情報 を精査し、変化に柔軟に対応する ことを期待する。
	1-3 理念等の達成に 向け特色ある教育 活動に取り組んで いるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を活かし、医師や看護 師を講師とする講義や、実習における サポート体制を充実させている。また、 異学年及び同学年で学び合いを促 進する学習や、他職種の学科を併設し ている強みを生かした協同学習を取り 入れている。	アクティブラーニングを活用した授業、 演習を取り入れ、母体病院の医師や看 護師を講師に招き専門性の高い教育 活動を実施している。また、他職種の 学科との協同学習を行い、多職種連携 を意識した学習を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長と少人数制教育 で培われた経験を活かしながら、 他科と情報を共有し、アクティブ ラーニングやOSCEにも取り組んで いる。
	1-4 社会のニーズ等を 踏まえた将来構想 を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会のニーズに対応できる看護専門 職の育成を目指し、地域で暮らす生活 者への看護を年次毎のレディネスに合 わせ、実践レベルで考えられるよう教 育を行っている。また、入学してくる学 生の多様性を考慮した教育に取り組 み、あらゆる場で活躍できる看護師の 育成を目指している。	地域包括ケアシステムの構想を踏ま え、あらゆる場所で活躍できる看護専 門職の育成、さらに臨床判断能力、コ ミュニケーション力、多職種連携、保健 指導力を身につけ、人々のニーズに応 えられる看護師の育成を目指してい る。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	決定された方向性は、社会のニー ズ等を踏まえた将来構想を抱いて いる。令和7年度の学科再編に係 る統合移転の実現に向け、邁進し ていきたい。
2 学校 運営	2-1 理念に沿った運営 方針を定めている か	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の中長期計画をもとに運営方 針が定められている。教務会議・ 学科会議で全教員の周知を図り、 理念に沿った運営を行っている。	法人の中長期計画に基づき、学院 の運営方針を定めている。月1回 の運営会議により、学校運営方針 を確認し、看護学科、理学療法士 科、放射線技師科と協働し、達成 に向け取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営 計画にて策定した“ありたい姿”経 営計画マスタープランと事業戦略 を理解し、目標達成に向けた取り 組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人としての中長期経営計画が定められており、それに基づいた学科の年間教育目標を設定している。また、学科目標から、各学年目標を設定し個人目標へ繋げている。	各施設の”ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略に基づき、事業方針を定めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。
	2-3 学校運営のための組織を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	組織図に基づき、運営のために必要な委員会・会議を開催し、適正な運営が行えるように整備している。	学院運営会議を月1回実施し、学校運営の適正化を図っている。学則や細則、広報、行事、入試、学生の進級・卒業に関する事項などは、運営会議に審議し最終決定される。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管理・運営の適正を図るため、必要な事項を月1回実施する会議にて審議し決定している。
	2-4 教員の組織体制を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌・服務規程は細則に定められており、教務科長を含む教員8名を配置し、専門領域を明確にしている。クラス運営や委員会活動等、必要な体制を整備している。	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制は整備されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関する規程を定め、組織体制を整備している。
	2-5 人事・給料に関する規程等は策定されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料においては設置主体の法人の規定に基づき決定・策定されている。	人事・給料に関する規程は、設置主体の法人が策定している。役割等級制度により、明確化されている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度より設置主体法人の規程する役割等級制度に基づき、適正に運営されている。
	3 教育活動	3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に基づいたカリキュラムを構成し、各年次の教育内容、実施方針は専任教員・外部講師ともに共有している。学生には入学時、各年次において説明し周知を図っている。	教育理念などに沿って教育課程を編成している。具体的な内容については教務科長および担任教員から学生に説明し周知を図っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
3-2 修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか		4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各年次ごとの教育到達レベルを設定している。学則、細則にて科目履修規定、評価点の基準を設定し、教員・学生の共有化を図っている。	年度毎に、教育目標の到達レベルを明確にし、年次目標に沿って学生が目標を到達できるように指導・教育が行われている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程を編成し、学生のレディネスに合わせた教育内容を設定している。さらに教員間で、統一した教育が行えるよう努めている。	教育目的・目標に沿った教育課程について外部講師・専任教員間で共通認識をもち、一貫性のある継続教育が実践できるよう努めている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義においては、シラバスをもとに講師との共有を図っている。実習では母体病院や他施設との合同実習調整会議を実施し、意見を反映させている。教育課程編成にあたっては、卒業生から得た意見も取り入れ反映するよう努めている。	外部講師や実習担当者との連携は図れており、学生のレディネスや学習進度等の情報を共有し、意見を取り入れている。また、今後も継続して卒業生の意見を確認し、学生が興味や関心を持って主体的に学べる教育課程編成を継続する必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得に向けた取り組みを行っている。母体病院の看護師からは、講義や実習指導の場面から、キャリアデザインを考える機会を得て、学習の意識づけや専門職としての責任と自覚を養うための動機としている。	卒業後を意識し、看護基礎教育と並行し社会人基礎力の修得に向けた教育や専門職業人に必要な自己啓発への動機付けを行っている。母体病院で活躍する認定看護師や看護管理者を講師として招きキャリアデザインを考える機会を増やしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に定められた専任教員数は確保できており、全員が大阪府看護教員養成講習会を受講済みである。	要件を満たしており、適正である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。課題としては、大阪府看護教員養成講習会未受講教員の講習会受講が挙げられる。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育に関連する院内研修が複数回行われたことで、教員の参加機会が増えた。外部研修の内容は教務会議にて伝達講習を行い、全教員が共有することで、自己の教育実践の向上に繋げることができている。	外部講師を招いての教育研修や勉強会を開催し、教員の自己研鑽や専門領域の能力を高められるようにしている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義及び実習終了時は、期限内に学生による評価の入力を行っている。教員は各自で評価内容を確認し、次回の講義や実習に繋げるようにしている。	授業評価は適切に実施されている。各教員もタイムリーに振り返りを行い、次の授業や実習に繋げることができている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価を実施している。リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則「履修・学習評価・進級・卒業」により科目履修及び卒業に関する事項を定めている。成績評価に関する判定が必要な場合は、学科会議、科長会議にて協議し、学院長が別途決定する。学生には、年度末に年間の成績評価を提示している。	成績評価・修了認定基準については学則に定め、適切に運用している。進級・卒業・単位認定に係る事案については、学科会議・科長会議に諮り、審議している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学内では、協同学習や授業課題及び教科外活動での成果発表の機会を多くもつようになっている。各学年とも実習終了後の報告会では方法を工夫して発表し、教員も参加して学びの共有・成果の把握をしている。	課題学習発表会、実習報告会、事例研究発表会など、学年で企画・実施を工夫しており、学科の教員も参加し、成果を把握している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表を積極的に実施している。また各種の発表における成果を教員が把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得が目標であることを明確にし、入学時ガイダンス及び各種ガイダンスで機会ごとに意識づけを行っている。国家試験を最終目標とし、逆向きに段階的な目標設定を意識づけている。	看護師国家試験受験資格・免許の取得については、教育課程上に明確に位置付けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする看護師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程が資格取得の体系的な位置づけになっており、それを基に国家試験対策委員が年間計画を立て支援している。また、学生の学習状況から傾向と対策を打ち出し、学生の習熟度に合わせた支援を行っている。	国家試験対策委員を中心に、模擬試験や補習講義など年間計画を立案し、実施している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	国家試験対策委員を中心に、看護師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
	4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	卒業時の就職率は100%であり、うち設置主体法人への就職率は80%であった。	就職率は100%を維持しているが、母体病院への就職率を上げるために、法人と協働で取り組む必要がある。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次より国家試験対策に取り組み、定期的に模擬試験や補習講義を行っている。少人数制の学習方法を取り入れ、3年次は実習と並行して自主的に学習を進めていけるよう学習面とメンタル面のサポートを行っている。	学習面はもとより、生活習慣改善に向けた指導を行い、自律性を育てている。国家試験受験まで主体的に学習に取り組めるよう支援しており、成果に繋がっている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	対策授業や補講、模擬試験の実施等、看護師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携し、全教員での取り組みを継続していただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	担任・副担任が窓口となり学科教員で支援を行っている。定期的に学生の面談を行い、保護者への連絡、協力を経て、メンタルサポートが必要と判断した学生は、スクールカウンセラーに繋げ、支援する体制を整備している。	相談窓口の明確化、広報を行い環境を整えている。本人の希望やメンタルサポートが必要だと判断した場合はスクールカウンセラーに繋ぐ体制が整備されている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	法人修学資金制度を周知し、また学費の猶予・分納相談にも対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。	日本学生支援機構の他、法人の奨学金制度を案内しており、8~9割の学生が奨学金を受けている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績不振や出席率が低い学生は保護者とも面談を行い、状況を把握した上で学生支援の協力を得ている。その他、保護者からの質問や連絡があった場合は即座に対応し、合意を得られるようにしている。	成績不振者や出席が常でない学生に対し、保護者のサポートが必要と判断した場合は、早期に保護者面談を実施し連携体制を構築している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	保護者との緊密な連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教育上必要な教育用具は整備されており、随時購入している。施設は老朽化がみられるが、学生の学習に影響が出ないよう随時補修し環境改善は行われている。	施設や設備は老朽化しているが改修工事により環境は整備されている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	年1回の消防訓練を実施し、防災センターの学外学習も取り入れている。災害発生時の基本方針は定めているが、災害発生を想定した防災訓練は実施できておらず、安否確認方法や帰宅困難時の対策も整備されていない状況である。	建物の老朽化から、安全な教育環境とは言えない。防災訓練は実施できていないが、教科外活動で防災センターでの体験を取り入れ補完している。防災に対する基本方針は定められている。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	高等学校訪問を行い、情報提供を行っている。大阪府の進学相談会が開催される場合にも参加し、情報提供を行っている。	高等学校への訪問を行い、情報提供を行っている。大阪府看護学校協議会及び大阪府看護協会の共催で実施している進学相談会入試一覧表には毎年情報を提供している。	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	オープンキャンパス及び学校見学は時期と回数を検討し、教員や在校生の参加により実施している。また、ホームページには学生の近況など学校生活がイメージできる内容を定期的に掲載するようにしている。	体験型のオープンキャンパスの実施やホームページの内容充実を図り、学生募集活動に取り組んでいる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生募集活動は感染予防対策を行いながら取り組んでいた。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。前年同様に受験者数の減少により、定員数に満たなかった。	学則・細則で入学選考基準を明確にし、適正に運用している。学院として育てたい学生像を教員で話し合い、選考基準を検討している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	予算計画を立て、事務と連携し、適正に執行管理を行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	財務について会計監査が適正に行われている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	法令や設置基準を遵守して適切に運営している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程に基づき、適切に取り扱うようにしている。実習前には実習ガイダンス等で注意喚起を行い、個人情報の取り扱いについて誓約書を交わしたうえで実習中の個人情報保護の徹底に努めている。	学生や教職員に対しての個人情報保護規程を定め、対策を講じている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規程を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育評価(授業評価・実習評価)を 実施することで問題点を明確にし ている。教育活動においては、教 員の意見を募り会議に諮るなど、 改善策へとつなげるように活動し ている。	年に1度、自己評価を実施してい る。問題点の改善については、そ の都度見直しを実施している。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善 を行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上で公開している。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。

清恵会第二医療専門学院 放射線技師科1部・2部

自己点検・自己評価による評価及び学校関係者評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項	学校関係者	
		評価	現状・具体的な取り組み等		評価	特記事項
1 教育理念・目的・ 育人材像	1-1 理念・目的・育人材像は、定められているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念/特長としてホームページ上にも掲載しており、理念に基づいての人材育成を行っている。また、目的は学生便覧に記載している。	本学院の理念は、母体である法人と共有するもので、学院創立の源である。これを元に目的を定め、日々の教育の中に生かしていくことが求められると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	理念・目的・育人材像は学則に定められ、専任教員に理解されている。専任教員はその理解のもとで教育活動を行っている。課題としては、学生への早期理解の徹底が挙げられる。
	1-2 育人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生便覧に「専門知識及び技術を習得し応用能力を養い人間形成に努め優秀な医療技術者を育成」と記しており、感性豊かな人材と医療・福祉に貢献出来る人材育成を重視している。	専門的知識と技術が習得出来るように、臨床現場で活躍中の講師や母体である病院を活用して、学習者自身の主体的な意欲や将来を見据えた人間性を高められる様な取り組みが必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	100%の就職率から育人材像は業界の人材ニーズに適していることが証明されている。今後も母体病院や実習施設等から得る情報を精査し、変化に柔軟に対応することを期待する。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	豊かな人間形成を目的に、心理学、臨床心理学、倫理学(生命倫理学)を科目立てしている。また、同グループの看護学科と理学療法士科から講師を迎え、基礎看護介護学や機能解剖学等の特色ある学びの場を設けている。	同じ医療職である他職種学科の学びを知る機会を設けることで、様々な視点や考え方を学ぶ場を提供しているが、狙い通りに学生に伝わることが出来ているか振り返りの機会も必要と考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の特長を生かし、少人数制教育で培われた伝統と経験を活かしながら、他科と情報を共有し、アクティブ・ラーニングやOSCEにも取り組んでいる。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	4年制大学の新設校が増加傾向にあるが、本学院1部では3年で免許取得が可能であるという点と、2部は夜間コースのため働きながら免許取得を目指す事が出来るという点で、大学とは別のニーズがあると考えている。	大学卒業者や社会人経験者がより学びやすい環境を整えること。また、臨床実習以外にも母体の清恵会病院を学びの場としてもっと活用していく必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	決定された方向性は、社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いている。令和7年度の学科再編に係る統合移転の実現に向け、邁進していただきたい。
2 学校運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念をベースに、1年間、更には5年間の目標を定め取り組んでいる。学院全体となる学院運営会議を月1回開催し報告と確認を行っている。	5年後までの定量目標や具体的な指標を決めて取り組むも、具体的な数値を交えて、放射線技師科における教務会議の場でも確認する必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営計画にて策定した“ありたい姿”経営計画マスタープランと事業戦略を理解し、目標達成に向けた取り組みを行っている。

2 学校運営	2-2 理念等を達成するための事業方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	5年後までの目標値をペースに、各 科が評価指標を定め、更に個々の 教員の目標にまで反映させ取り組 んでいる。	放射線技師科の年間目標をベ ースに、各学年担当者がクラスの特 徴も踏まえて取り組んでいる。しか しながら、未達の目標へ更に踏み 込んだ取り組みも求められる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	2019年度～2023年度中長期経営 計画にて策定した“ありたい姿”経 営計画マスタープランと事業戦略 を理解し、目標達成に向けた取り 組みを行っている。
	2-3 学校運営のための 組織を整備してい るか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院の運営においては、組織図 のもと学院長、事務長、各科教務 部長をメンバーとした学院運営会 議を中心に、必要な委員会を設 置・開催している。	学院運営会議の下に、放射線技師 科における教務会議を設け、月2 回開催し、情報共有や報告を行っ ている。今後も、このペースで継続 していく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院運営委員会を設け、学院の管 理・運営の適正を図るため、必要 な事項を月1回実施する会議にて 審議決定している。
	2-4 教員の組織体制を 整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院長、事務長、教務科長、主 任、担任、副担任で構成している。 また、進路担当、臨床実習担当を 配置している。	教員の組織体制は整っているが、 経験年数の少ない教員や、昼間部 と夜間部の連携等、サポート体制 の更なる充実を図る必要があり、 教員の増員を予定していく。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員の業務分掌及び服務に関す る規程を定め、組織体制を整備し ている。
	2-5 人事・給料に関す る規程等は策定さ れているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事については、設置主体法人の 規程に基づき、法人理事会で決定 される。給料規定も策定されてい る。	学院人事は、法人人事とも深く関 連するが、専門学校の指定規則に 則って配置されている。個々の能 力向上を図りながら3年後5年後の 先を見据えて昇任・昇格を行って いく必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事・給料に関しては2018年度よ り設置主体法人の規程する役割等 級制度に基づき、適正に運営され ている。
3 教育活動	3-1 教育理念等に沿っ た教育課程の編 成、実施方針を定 めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程の編成は、学生便覧に明 記している。教育理念に沿った具 体的な取り組みにおいては、教務 で理念を共有しながら取り組んで いる。	実施方針は、教務会議の場で確認 しているが、実際に教育に反映さ れているのか具体的な確認作業が 必要であると考ええる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に沿った教育課程が編 成されており、専任教員と外部講 師、また学生にも周知が図られて いる。
	3-2 修業年限に応じた 教育到達レベルを 明確にしているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	放射線技師科の目標をベースに、 各学年担任が目標とその指標を定 め取り組んでいる。しかし、留年・ 退学する学生が多く、選択コース (最終学年の留年生)が設けざる得 ない状況である。	前期・後期で各担任によるクラス状 況の報告と、指標と達成度の見込 の確認を、主任と教務科長による 面談を通じて行っている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	修業年限に応じた教育到達レベル を明確にしており、専任教員と外 部講師、また学生にも周知が図ら れている。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育課程は、指定規則に従って基礎分野、専門基礎分野、専門分野で構成されており、その中に当学院独自の科目も組み込んでいる。また教科外活動という時間を設けて座学以外の勉学の場も設けている。	ここ数年、必要に応じてカリキュラムの一部変更等も行い対応してきた。2022年度の指定規則変更によるカリキュラムの改訂も行ったが、更なる特色ある科目立てを考える必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に沿った教育課程が編成されており、専任教員と外部講師、また学生にも周知が図られている。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	当学院が作成したカリキュラムによって講義を依頼している。国家試験科目においては、学院の要望と外部講師の意見も反映して行っている。	専門科目においては、常に最新の情報が講義に反映されるように、今後も工夫を凝らしていく必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	実習先や外部講師、現場で活躍する卒業生からの意見を積極的に取り入れ、教育課程に反映させている。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学年次におこなっている学院卒業生による教育講演、実習前の接遇教育、学会参加等の機会を設けて対応している。	必ずしも十分とは言えないため、母体の病院を活用して、病院見学や入門実習的な機会を増やす事も考える必要があると考える。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	職業人教育は入学後直ぐに始めており、様々な行事等に学生全員が主体的に取り組むことによって自律性と協調性を高める努力が行われている。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師学校養成所指定規則に定められている要項を満たした専任教員を確保している。	本学院の専任教員は、規定以上の臨床経験を全員が有している。専門以外の講師も文科省の定める条件を満たしている。必要に応じて、規定数以上の教員配置も今後考える必要があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格・要件を備えた教員を確保している。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	専任教員は様々な研修会、学会等に積極的に参加しており、関連資格の取得も含めて資質向上に取り組んでいる。	担当科目の専門性を高め、講義に反映できる取り組みを行っているが、施設研修など、更なるスキルアップが必要である。勤務態勢を見直して柔軟な体制作りも今後必要と思われる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	協会等の主催する研修会や学会に参加しており、教育の資質向上への取り組みを行っている。しかし、取り組みを行っているのだが、研修会や学会に参加しない教員がいることが課題である。
	3-8 授業評価を実施しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	専任教員の講義では、リアクションペーパーでの授業の感想を元に授業内容の見直しを行っていたが現在は中断している。また、外部講師の講義内容は科目によっては一任している。	今後は専任教員、外部講師共に授業評価がおこなえる方向に向けて進めていきたい。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教務会議を行う等、授業評価を実施していないわけではないが、リアクションペーパーを活用する等FD活動に教員全員で取り組んでいただきたい。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	学則に基づき、定められた授業科目履修規定により、筆記試験、レポート提出等により、基準を満たし者について単位認定を行っている。しかし、今年度前半までシラバスを学生に提示できていなかった。	後期より初講にシラバスを説明するよう徹底していく。前期終了時と学年終了時に成績を送付している。また不合格科目の多い学生には再試験前に指導を心がけている。今後は、不合格にさせない為の取り組み方も考えていかなければならないと考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用している。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	臨床実習前に、班ごとに勉強した成果をクラスメイト、専任教員、また臨床実習施設指導者を交えた中でスライド発表として行い、採点を行う等の取り組みを行っている。	今後は、可能であれば下級生等の参加も考えてみる必要があるが、講義日程の調整、多人数の入る教室等、今後の課題といえる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各種の発表における成果を把握している。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学院での最終目標は、診療放射線技師免許の取得であり、国家試験を意識した授業内容を行うよう取り組んでいる。	1年次から最終学年次まで1科目も無駄な科目など無いと言うことを認識させ、積み重ねの大切さを理解させるような術の検討が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	目標とする診療放射線技師国家資格の取得は、教育課程上で明確に位置づけられている。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	最終学年では、毎月国家試験模擬試験を実施し、個々の学習到達状況を把握し、国家試験に向けた対策につなげている。既卒者の受け入れも行っている。	国家試験への対策は最終学年からが本格的な指導となるが、昼間部生は前期が臨床実習となるため、現在2年次後半からの対策も必要と考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師国家資格の取得のための指導体制は整っている。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	本校は高い就職率を維持している。	長年高い就職率を維持し続けているが、大学3年次編入学という進学への指導も積極的に行っていきたい。	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率の向上は図られている。学院創立以来、最終的には就職率100%を維持しているが、今後も継続を期待する。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている 3 ほぼ適切 ② やや不適切 1 改善が必要	2024年度の診療放射線技師国家試験の新卒合格率は64.4%であった。	2025年度は90%以上を目標に、更なる指導を行う必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	夏期講習や対策授業、実力試験の実施等、診療放射線技師国家資格の取得率の向上を図るために努力は行っている。国家試験対策委員と連携を強化し、全教員で取り組んでいただきたい。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時や新学年次始めに、必ず担任が面談を行いコミュニケーションを図ることで、相談しやすい環境作りに取り組んでいる。特に相談件数の多い就職の相談においては、診療放射線技師免許保持の教員全員が対応可能である。	放射線技師科は昼間部と夜間部があることから相談時間が限られる場合もあり、全教員が必要に応じて相談に応じられる体制が必要で、情報共有も密に取る必要があると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生相談に関する支援は整備されている。労力が必要とされる様々な相談への対応を、相談しやすい環境を維持しながら、今後も継続していただきたい。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学費の猶予・分納相談に対応し支援を行っている。日本学生支援機構の申込み事務手続きの支援も行っている。夜間部生に対しては、医療現場での仕事の紹介も行っている。	希望者全員に病院(医療現場)での仕事を斡旋出来ないところが課題として上げられる。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学生の経済的側面に対する支援は整備されている。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時の個人面談時に、可能な範囲で家族のことや学校からの連絡先や連絡相手の確認を行っている。成績や学院生活等で必要に応じて連絡を取り合っている。	特に今まで大きな問題は生じていないが、国家試験に対する自宅学習時の指導等、密な連携を要する学生もおり、対策を図る必要も今後生ずると考えている。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	保護者との連携体制は構築されている。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	診療放射線技師学校養成所指定規則で定められている教育上必要な機械器具、標本及び模型を整備している。	開校当初に揃えた用具や機器は古くなったものも多く、今後は用具や機器の更新の必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育上の必要性に対応した施設や設備、教育用具等整備はしているが、老朽化等により十分ではない。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	大地震発生時の基本方針は定められたが防災訓練を実施していない。また、帰宅困難時の備蓄ができていない。	築40年以上の校舎であることから、早急な耐震補強や備蓄が必要である。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	防災に対する基本体制は整備されている。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専任教員も高校を訪問する等、積極的な広報活動を実施している。また、高校ガイダンスにも積極的に参加し、情報提供も行っている。	特記事項なし	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みは行われている。

7 学生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高校訪問に加え、業者主催の進学相談会に積極的に参加し、またオープンキャンパスと学校見学会、職業体験も積極的に実施している。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	高等学校等の訪問を行っており、オープンキャンパスや学校見学会に対する情報提供等の取り組みは行われている。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考の可否は入学選考基準により適正に審査されている。また受験生は減少傾向にあり、特に2部(夜間部)の減少が著しい。	2部(夜間部)におけるAO入試を、社会人向けにわかりやす広める必要性があるのではないかと。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学選考基準については明確化し、適正に運用されている。
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算及び事業計画は設置主体法人に報告・確認しており、計画に基づき適正に執行され、決算報告も適正に行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	予算・決算については適正に行われている。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	財務について会計監査が適正に行われている。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っている。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法令・設置基準は守られ、適正に運営されている。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時に学生便覧に基づき、SNS規定等しっかりとオリエンテーションを行っている。また、臨床実習前にはガイドブックを用いたオリエンテーションと同意書の提出を求めている。	学院内における情報の取扱、臨床実習時の患者情報の取扱、電子記憶媒体の取扱など、事あるごとに必ず全員に伝えるようにする必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	個人情報保護規定を定めている。

9 法令等 の 遵 守	9-3 自己評価の実施と 問題点の改善を 行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教員個々が年間計画を立てて4 月、10月、年度末に自己評価を主 任、教務科長と面談を行っている。	個々の問題点を教務の問題点とし て、教職員全体で共有し改善に役 立てる必要がある。	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己評価の実施と問題点の改善を 行っている。
	9-4 自己点検結果を公 表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上に公開。	特記事項なし	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	自己点検結果は公表されている。